

## 第5学年 家庭

### 第5学年の学習到達目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付くようにする。
- (2) 製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

### 第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 見つめよう！家庭生活 家庭の仕事を見つめよう	楽しくあたたかい家庭生活をつくるために、家族は支え合っていることに気づく。 家庭には、さまざまな仕事があることを理解する。	自分の1日の生活をふり返り 家庭の中で自分がしている仕事や家族がしている仕事調べ これから自分にできそうな家庭の仕事
	できる仕事をふやそう	家庭生活への関心を高め、家庭の中で自分にできる仕事はないかを考え、取り組む。 家庭生活を送るうえで必要な基礎的・基本的な知識や技能を身につける。	家庭科室の調理用具調べ ガスこんろの安全な使い方（お茶を入れる） ほうちょうの安全な使い方（果物を切る） 家族とお茶を楽しむ計画 整理、整とんの必要性和身の回りを便利に美しくする簡単な実習 裁縫箱に入っている用具調べ 玉結び、玉どめの練習
	くふうして仕事を続けよう	家庭の仕事を長く続けるために、家族でどのように工夫すればよいかを考える。 家庭の仕事の見直しと実行の手順を知る。	家庭の仕事の役割と仕事を分担する意味 自分の分担した家庭の仕事の見直し、改善点、長く続ける方法
	はってん	学習したことをさらに深める。	小物をつくろう
	2 料理って楽しいね！おいしいね！ 1日の食事を調べよう 簡単な調理をしよう	いつ、どんなものを食べているかをふり返り、食生活への興味・関心をもつ。 調理実習の進め方や大切なポイントを理解する。 「ゆでる」「いためる」の調理方法の特徴を理解し、実際に調理できる。	きのう1日の食事内容を調べ 毎日欠かさず食事をしていること  調理することの意味 調理の手順や、調理に必要な用具の種類や扱い方 卵や野菜のいろいろな調理方法 「ゆでる」「いためる」の調理方法の特徴の理解と調理
後期	なぜ食べるのか考えよう	食品の体内でのおもなはたらきが分かり、食べることの大切さを理解する。 家族や友達といっしょに食事をする楽しさを実感し、自ら食生活を工夫しようとする。	毎日いろいろな食べ物を食べる必要性の理解 食品が体内に吸収されるまでの流れと吸収されてからののはたらき 家族や友達と食事をする楽しさ
	3 めって！使って！楽しい生活 くらしの中の布製品を探そう 作り方を調べよう	身の回りにどんな布製品があるかを調べて、布でできているものに興味・関心をもつ。  布の種類や特徴を理解する。 ミシン縫いの特徴を理解する。 ミシンを安全に使って、直線縫いをすることができる。	身の回りの布製品調べ  身近な布や布製品の観察、製作計画 ミシン縫いと手縫いの比較、ミシン縫いの利点の理解 ミシンの正しい扱い方と練習
	楽しく作ってたくさん使おう	布端の始末を工夫して、手縫いやミシン縫いで、生活に役立つ物をつくる。	生活に役立つ物の製作
	はってん	学習したことをさらに深める。	簡単なおやつの手作りと家庭団らんの工夫

後期	4 くふうしよう！かしこい生活 身の回りの物を見直そう	身の回りの物に関心を持ち、自分の持ち物を見直したり、身の回りを快適に整えようとしたりする。	快適に過ごすための整理 整とん、掃除、ごみの始末などの仕事
	身の回りをきれいにしよう	整理・整とんや掃除の必要性を知り、これらの手順を調べて、気持ちのよい住み方を工夫する。	整理 整とんの手順、方法調べ 身の回りの物の整理 整とんの工夫 場所による汚れの種類や汚れ方を調べ 手順や方法を考え工夫した掃除
	不要になった物を生かそう	不用品の活用方法やごみの始末の仕方を調べて、地域や環境に配慮した生活の仕方を工夫する。	不用品の活用方法 ごみの始末の仕方、地域のきまりや家庭での工夫 学校や家庭で出るごみの適切な始末の仕方
	品物の買い方を考えよう	お金を計画的に使うことの大切さを理解する。 目的に合った品物の選び方や買い方ができる。	毎日利用している物やサービス 金銭の価値 購入の意思決定のシミュレーション 商品の情報を集めるさまざまな方法 食品、文房具などの品物の選び方調べ 買い物計画
	はってん	学習したことをさらに深める。	生ごみ、資源ごみ、生活で使った水の再利用 家庭生活の工夫

### 評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【家庭生活への関心・意欲・態度】 衣食住や家族の生活について関心を持ち、家族の一員として、家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。</p> <p>【生活を創意工夫する能力】 衣食住や家族の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。</p> <p>【生活の技能】 生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>【家庭生活についての知識・理解】 家庭生活を支えているものや大切さを理解し、衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>作品・レポート・家庭での実践記録・ペーパーテスト・学習プリント・自己評価・学習への取り組み状況などにより評価します。</p>
---	--

### 特色ある学習方法

<p>(1) 製作や調理などの実習の実践的・体験的な学習活動を多く取り入れます。</p> <p>(2) 製作や調理などの実習を効果的に進めるため、学習環境を整えるなど、事故の防止に十分留意していきます。</p> <p>(3) 単元によっては、ゲストティチャーとして、地域の婦人会の方に指導していただきます。</p> <p>(4) 調べ学習では、学校図書館やインターネットで調べたり、時には地域の人にインタビューしたりします。</p> <p>(5) 実習では、一人一人にきめ細かな指導をしていきます。</p>
---

### 使用教材等

<p>教科書 新編「新しい家庭」(東京書籍)、家庭科ノート、わたしたちの暮らし 裁縫セット 5年生から家庭科の学習が始まり、裁縫セットを使います。学校では、必要な用具の紹介をして購入希望も取りますが、ご家庭に用具がある場合はそれをお使いください。</p>
---

### 留意事項

<p>(1) 家庭で実践することによって、製作や調理など、日常生活に必要な知識と技能を一層身に付け、自分の生活に活用できるようになります。子どもたちが進んで実践できるような環境づくりと温かな励ましの言葉をよろしくお願いします。</p> <p>(2) 学習に入る前にインタビューしたり、調べ学習で質問したりすると思います。子どもたちに分かりやすく答えてくださると、その後の学習に意欲を持って取り組むことができるのでよろしくお願いします。</p>
---